

北Qみらい NO.8

通巻第50号



[発行]

〒806-0021
北九州市八幡西区黒崎3丁目15-3
コムシティ5階
北九州市立聴覚障害者情報センター

[連絡先]

TEL 093-645-1216
FAX 093-645-3335
E-mail
kitakyu-video@wel-tobata.jp

新年度のあいさつ



センター長
安藤 薫

春が訪れ、別れと出会いの季節になりました。
情報センターでは今年度、退職者も含め大きな異動がありました。
寂しい思いは残しながらも、新体制で事業に取り組んでまいりたいと思います。
今年度は、数年ぶりに字幕ボランティア養成講座を企画しており、字幕ボランティアさんのご協力のもと進めてまいります。
また、時間数も内容も充実した新カリキュラムで、盲ろう者通訳ガイドヘルパー養成講座を行います。
障害のある方が社会参加するうえで、ボランティアの存在は欠かせないものです。職員一同、気持ち新たに今年度も取り組んでまいりますので、みなさんご協力よろしくお願いいたします。



新体制(人事異動)のお知らせ



津村 佳代子



専任手話通訳者として、区役所の設置事業から東部障害者福祉会館、聴覚障害者情報センターに通い、23年間みなさんにお世話になりました。この度、都合により3月末をもって退職することとなりました。どこかでお会いした時には話しかけてください。みなさんお元気で。



門田 和美



ウェルとばたから黒崎コムシティへ異動になりましたので、今後ともよろしくお願いいたします。



友瀬 幹夫



6年ぶりに4月から再び情報施設へと異動になりましたので、よろしくお願いいたします。



市吉 利夫



退職し、障害者福祉会館の事業担当から今後は盲ろう者事業担当として頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



永山 容子



点字図書館に異動になりました。が、すぐ隣にいますので、これからもよろしく！



西 えりな



黒崎コムシティからウェルとばたへ異動になりましたので、今後ともよろしくお願いいたします。

報告1：なかよし交流会 ～聴覚特別支援学校～

市内の難聴特別支援学級間で年2回、なかよし交流会を行っています。平成26年度2回目のなかよし交流会は、1月21日に、小倉聴覚特別支援学校との交流会を行いました。インフルエンザ等で欠席者がいましたが、難聴学級10人、小倉聴覚特別支援学校22人が交流しました。

福祉バスを借りて、浅川小、八幡小、小倉中央小、松ヶ江南小を巡回して、支援学校まで行きました。

まずは、学校内を教頭先生に案内してもらい、見学させていただきました。小学部、中学部、幼稚部があること、聴能訓練の教室があること、授業の初めと終わりをランプの色でも教えてくれることが分かり、初め

て来た子ども達は、「うちの学校と全然違う。」と言っていました。

次は、体育館でお待ちかねのなかよしゲームです1つ目のしっぽ取りゲームは、支援学校の友達が説明してくれました。全体を紅白に分け、腰につけたしっぽを取り合います。取られたら、エリアの外に出なければなりません。わあわあ、きゃあきゃあ、言いながら走り回っていました。2つ目のゲームは、ボール運びです。説明は、八幡小の友達がしました。5つのチームに分かれ、速さを競いました。3つ目は、文字を並べてことばを作るゲームです。体育館の床にばらまかれたチームの色のカードを集め、書かれた文字を見つめて、あれこれと並べ替えて、ことばを作りました。

あっという間に時間が過ぎ、楽しいゲームはおしまいとなりました。

それから、ランチルームに移動して昼食です。支援学校の友達は給食、難聴学級の友達はお弁当を食べました。学年ごとに集まり、自己紹介をしながらいただきました。

最後は、昼休みの自由遊びです。お互い誘い合って、ドッジボールやケイドロを楽しみました。走り回って遊んでいる子ども達の笑顔が最高でした。別れを惜しみながら、「また、来てね。」「また来るよ。」と握手を交わし、別れを惜しんでいました。

帰りのバスの中で、「また、来年も行きたい!」「私も!」「ぼくも、また会いたい!」という声。また、一緒に遊びましょうね。



※ケイドロ=子どもたちの遊びの一つでチームに分かれた鬼ごっこのようなもの。「警察チーム」と「ドロボウチーム」に分かれ、略して「ケイドロ」と呼びます。

**報告2：気ままにセミナー****平成27年2月27日・3月6日**

2016年から施行される障害者差別解消法の合理的配慮の視点から、やさしい居心地の良い雰囲気を作るにはどうすればよいかと、一緒に考えさせてもらうことを目的として、北九州ひとみらいプレイス主催により気ままにセミナーを開催しました。22名の参加で、テーマは「聴覚障害者にやさしいマナーとコミュニケーション」。講演と実技を2回行いました。

1回目「聴覚障害者への対応とマナー」は聴覚障害者の豆知識クイズ、聴覚障害とは、聴覚障害者のバリア、コミュニケーション手段とマナーなど。

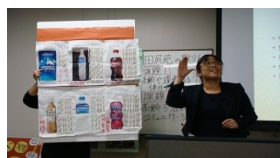
2回目「コミュニケーション演習（手話、筆談の実技演習）」は、手話ってナニ？、表情ニュアンス、手話入門レベルの実習などを行いました。

ボランティアの関係者、また市民の皆さんとともに、聴覚障害者に対する理解の輪を一層広げることができました。



参加者よりセミナーに対する感想をいただきました。

- とてもわかりやすく楽しかったです。コミュニケーションのとりかた、手話のことがよくわかりました。
- 非常に楽しかった! 講師二人のキャラが朗らかで良かった。
- 手話って難しいと思っていましたが楽しいと感じました。機会があれば学びたいです。
- “気ままにセミナー”の2度の講座を受けて色々なことを気軽に楽しみながら勉強できたので難しくなく取り組めたのが良かったです。
- もうちょっと映像があったらよりわかりやすかった。
- 手話や表現がわかりやすいので定期的にセミナーを開催してはどうでしょうか

報告3:平成26年度を振り返って “1年間ありがとうございました。”5月 盲ろう者交流会
(白野江公園)5～8月 ミニ手話教室
(聴覚障害者情報センター)8月 CS放送自主制作
(八幡・浅川小学校)9月 ろうLGBT
(聴覚障害者情報センター)9月 情報センターの集い
(佐賀県聴覚障害者サポートセンター)9月 聴覚障害者支援セミナー
(聴覚障害者情報センター)10月 学習発表会見学
(直方聾学校)TV番組字幕挿入制作
「笑顔まんてんタビ好き」**報告4: ふれあいの会**

平成27年 2月24日(火)

航空自衛隊芦屋基地（遠賀郡芦屋町）の見学に、聴覚障害者21名と盲ろうボラ・要約ボラ、職員を含め総勢29名で行ってきました。前半は芦屋基地の沿革や各隊などの説明があり、ペトリオットミサイルや戦闘機の話に男性陣は目を輝かせていました。その後は広い敷地をリフトバスで移動し、航空事故発生時に出勤する救難捜査機や救難救助機の話を行いました。飛行機を目の当たりにしての説明は臨場感があふれるもので、みんな盛んに質問をしていました。お昼は隊員さんと同じランチ（牡蠣フライ・サラダ・クリームスープ・パン・フルーツ・デザート）をお腹いっぱいおいしくいただきました。午後からは、パイロット養成練習機T-4の説明や防火服の試着、航空機火災に出勤する特大（4トン）の消防車への試乗と放水も見ることが出来ました。最後は売店で自衛隊グッズなど購入し、隊員さんの敬礼に送られ帰路につきました。

今回の見学を通して自衛隊の役割を知ることが出来ましたし、自衛官の皆さんにも災害時の出勤の際に聴覚障害者の存在に注意を払っていただけるのではないかと思います。

**報告5: 盲ろう者社会参加講座 陶芸体験**

平成27年 3月 7日(土)

盲ろう者社会参加講座の3回目は、備前焼窯元「陶里宛（とうりえん）」より講師をお招きして、備前焼について学びました。「備前焼は固くて丈夫、お茶やビールがおいしくなる、ごはんもおいしく炊ける」など、備前焼きのあれこれを教えていただき、そのあと、実際にろくろを回して作品作りをしました。参加した盲ろう者は、粘土の感触を楽しみながら、笑顔いっぱいで、手際よく仕上げていきました。3個作って一番のお気に入りを講師に託しました。おまけの備前玉（びぜんだま）も3つ作りました。焼き上がりが楽しみです。

**報告6: 派遣事業の件数 出－タ**（専任手話通訳者、盲ろう者通訳・ガイドヘルパー、要約筆記者）

専任手話通訳者			
個人	団体	計	
1月	276	29	305
2月	284	14	298
3月	292	18	310
総計	852	61	913

盲ろう者通訳・ガイドヘルパー			
個人	団体	計	
1月	12	0	12
2月	16	0	16
3月	10	0	10
総計	38	0	38

要約筆記者				
	OHP/OHC	PC	ノートテイク	計
1月	6	5	3	14
2月	4	2	8	14
3月	3	5	14	22
総計	13	12	25	50



ビデオ制作のコーナー



紹介: DVD新入荷 なつかしい昭和の邦画を見ませんか？



お知らせ: 市政テレビ「こちら編集部!」



FBS福岡放送(5チャンネル)
毎週日曜日17:25~17:30

北九州市の街や施設紹介、またスポーツや文化に関する手話通訳付きの情報番組です。初めての試みとして、1月25日と2月22日放送分は聴覚障害者が手話通訳を担当しました。下記のアドレスで検索できます。
<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/kouhou/08300131.html>

1月25日 放送分



2月22日 放送分



編集後記: 春わくわく、魅力をアピール

世界文化遺産・姫路城(兵庫県)は、大天守の保存修理を終え、27日から一般公開。見どころはやはり見事なしっくい塗りの『白鷺(しろさぎ)城』。修繕が必要な部分を入念に検討し、しっくいや下地の土壁を解体し、繊細な作業が進められた。復元するためには、全ての箇所でもミリ単位の正確な寸法取りが必要だとテレビ番組で紹介があった。「姫路城大発見アプリ」をダウンロードしたタブレット端末やスマートフォンで江戸時代の城下町や武士の動画などを楽しむことができる。北九州市の「いのちのたび博物館」は、映像資料などに字幕を挿入する準備をされている。聴覚障害者にとって、目で見える情報が増えていくのは本当に楽しみだ。

貸出状況の出ータ

	貸出人数	貸出本数
1月	13	27
2月	18	41
3月	8	19
総計	39	87